

おそき保育園 老人施設さんとの交流 ボルダリング教室

今年度は、コロナ禍で中止になっていた地域のおじいちゃん、おばあちゃんとの交流も活発になってきました。

愛仁ホームさんとは、子どもの日のお祝いに保育園に来てくれ新聞紙のカブトを一緒に作ったり、母の日イベントに招待してもらい風船飛ばしを体験したり、おじいちゃん、おばあちゃんとのひと時を楽しみました。子どもたちとの触れ合いをとても喜んでくれ、涙ぐんでいるおばあちゃんの姿を見て、子どもたちにとって、とても大切な経験をさせていただいているなと感じました。

3月には、愛弘園さんとの交流も再開する予定で準備を進めています。このように地域の中でみなさんと関わりながら子どもたちが成長していくことに喜びを感じています。



おそき保育園では、年長児が月1回、保育園バスを利用し、瑞穂にあるボルダリング施設に通っています。

ボルダリングは、脚力や体幹、バランス感覚などの全身運動に加え、集中力や記憶力、友だち同士の関わりなどから協調性なども育まれます。最初、恐々始めた子どもたちも回を重ねるごとに高くまで登り大人が見ていて怖いくらいどんどん登っていきます。1月には、ハーネスをつけてもらい一番上まで挑戦しました。その成長に、子どもたちってすごい！！本当にそう思いました。保育園バスがあることでいろいろな経験ができ、さまざまな活動から子どもたちの気付き、感動を引き出すことができれば嬉しいなと感じています。
(おそき保育園 主任 天野恵利子)

ひまわりプールでヤマメつかみ取り大会

今年度もひまわりプールにて7月27日にひまわりプール保存会主催で、七小生徒だけでなく、小曾木保育園園児、島田福美さんのお孫さん等27名が参加してヤマメつかみ取り大会を開催いたしました。

今回も氷川漁協さんのご厚意によりヤマメを格安で譲って頂き、参加者に喜んで頂きました。さすがに三年目ともなると子どもたちも慣れた手つきで次々とヤマメを捕獲しておりました。また、今年は親御さんだけでつかみ取りを体験してもらい、かなり苦労してヤマメを捕まえていたのが印象的でした。

(ひまわりプール保存会 中村真吾)



ひまわりプール周辺で交流

7月19日(土)、青少健主催で夏休みの初日に青梅七小、成木小、七中の児童・生徒とスタッフ計67名でひまわりプール及び近くの原っぱで汗だくで遊びました。

